

三石地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>三石地域は「～人寄ればよろこんぶ三石（地域連携が人を呼ぶ、魅力ある漁業・漁村地域の創造）～」をキャッチフレーズとして、後継者対策で漁業地域の足腰を強め、水産物の品質確保のための取り組みを行いつつ、地元水産物の地産地消を総合的に推進する取り組みが盛り込まれているなど、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>地元水産物提供マップを地元商店や飲食店と協働して作成し、道の駅に設置し集客を行い、そのマップを見て訪れた人へ新たな情報を提供するなど、地産地消の取り組み手法においてコミュニケーションに連続性を持たせているところに独創性が見受けられる。</p> <p>今後、地産地消を効果的に実現するための新しいコミュニケーション手法（例えば、一度買ってもらった消費者を三石サポーターとして継続的に情報提供を行う等）を模索し、実効性のある取り組みが他地域の参考になっていくことを期待したい。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。地域マリンビジョンの策定時には地域の各部会を通じて状況を周知したり、プレスに投げ込みを行い新聞に掲載されるなど地域での合意形成に工夫がなされ、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の三石漁港はモデル性が確保されている。地産地消のために必要な水産物の安定供給に向けた漁港整備を行っていく予定であり、安定的な漁業活動のための基盤が地域マリンビジョンを実現する一助と期待されるほか、継続的なビジョン実現に向けた取り組みによって漁港の効用が最大限発揮されるものと考えられる。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>既に地産地消推進部会、衛生管理部会、後継者対策部会など各種部会が開催されるなど、実行主体が明確となって積極的な活動が行われていると評価できる。</p> <p>また、これまで地元産品の食材のみを使用した弁当の試作を行い、新たな調理方法を模索するなどユニークな取り組みも行われており、今後継続的な取り組みとして実行されていくことを期待したい。</p>